西日本サイディング・News
2025年(令和7年)
10月1日
(第210号)

発　行
西日本サイディング事業協同組合
事務局
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル(旧下村ビル)6F
TEL 06-6121-7302
FAX 06-6121-7303
URL:https://www.siding.jp/west/

法改正後の大規模リフォームにおける注意点

2025年4月から、木造戸建ての大規模なリフォームが建築確認手続きの対象となる改正法が発効している。これまで特定の建築物に対して確認申請が不要だった4号特例が実質廃止され、以前は特例として行われていた多くの工事で申請が必要となる。確認申請の要・不要の区別および注意すべきポイントを整理した。

改正法の概要とポイント

この変更は、2022年に公布された改正建築物省エネ法に則って建築基準法が改正されたことによるもの。建築確認対象が拡大することで、問題視されていた違法増築や建築基準無視などを是正し、安全性を高めるのが目的だ。

「大規模なリフォーム」は、建築基準法上の大規模な修繕や模様替えにあたるもので、建築物の主要構造部(壁、柱、梁、屋根、階段)の一種以上について行う過半の改修を指す(※1)。ただし、水回りのリフォームやバリアフリー化の手すりなどの設置工事は手続き不要。例えば**階段の架け替えは該当するが、屋根や壁の仕上げ材のみの改修は該当しない。**

国土交通省は、資料「木造戸建の大規模なリフォームに関する建築確認手続について」を公開し、建築確認手続きの要否について詳細に解説している(※2)。本記事では組合各位に関連の深そうな壁、屋根について紹介する。

○外壁改修の取り扱い

外装材のみの改修や、内側から断熱改修を行う場合、または既存外壁に仕上げ材をかぶせるカバー工法は、建築確認対象に**該当しない**(図1)。しかし改修範囲が壁を構成する主要な材にまで及ぶような改修で、かつ改修面積が総面積に占める割合で過半となる場合は**該当する。**

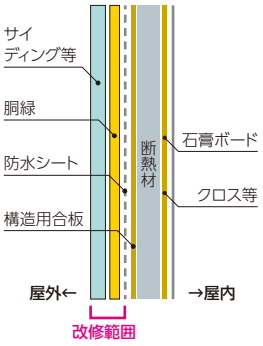


図1)外壁の確認不要例
(木造・重点断熱の場合)

○屋根改修の取り扱い

屋根ふき材のみの改修やカバー工法による改修は大規模リフォームに含まれず、建築確認対象に**該当しない**(図2)。ただし範囲が垂木まで及び、かつ改修面積が総面積の過半を占める場合は**該当する。**

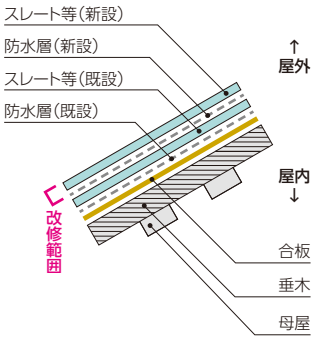


図2)屋根の確認不要例
(カバー工法)

ここも重要!さらなる注意点3点

①延べ面積が100㎡を超える建築物で大規模リフォームを行う場合は、建築士による設計・工事監理が必要である。

②建築基準法改正により、2025年4月から、増改築や改修工事でも省エネ基準への適合が求められるため、断熱性能の向上や高効率設備の導入が必要となるケースがある。

③4号特例廃止により設計審査が厳格化され、最新の耐震性能基準への適合が求められる。よって増改築やリフォームでも詳細な構造計算や設計図書の整備・提出が必要となるケースがある。

気付かぬまま違反を犯さないために

リフォームの場合、施主から直接受注して工事に臨む組合員企業も多い。見落としによって違法の自覚がないまま工事を進めてしまうことのないよう十分に留意しなければならない。特に※2の国交省資料はぜひご一読されたい。

※1:2階建て以上の木造戸建てや200㎡以上の平屋で行われる大規模リフォームで、2025年4月以降に工事着手するもの

※2:https://www.mlit.go.jp/common/001766698.pdf

さよなら継ぎ目。メンテナンスも、当分さよなら。
未来へ受け継ぐ新世代外装材
Fuge フュージェ
美しい佇いを、
住まいにいつまでも。
GOOD DESIGN AWARD
2014年度受賞
素晴らしい人間環境づくり
NICHIHA ニチハ株式会社
商品のお問い合わせ、ご相談は、最寄りの弊社営業所または下記お客さま相談室にお問い合わせください。
【お客様相談室】TEL(052)220-5125 FAX(052)220-5157【受付時間】月～金 AM9:00～PM5:00(土・日・祝日・年末年始・お盆休みを除く)

組合員インタビュー

責任施工で高い品質を追求

「自分の家を施工するつもりで」取り組む若い職人たち

株式会社小瀬外装工業　取締役　小瀬恵子氏

今回は、今年4月加入の㈱小瀬外装工業（代表取締役：小瀬正也氏）が登場する。インタビューにご協力くださったのは小瀬恵子取締役。宝塚市に本拠を置く同社は、屋根、外壁から外構まで外装全般に対応し、京阪神をはじめとした近畿一円、ときには関東までもカバーしている。若い世代が多い、活気あふれる会社だ。

1996年設立で、来年30周年ですね。

はい、おかげさまで。社長の小瀬正也が個人で「小瀬外装工業」を開業した1989（平成元）から数えると、かれこれ36年になります。小瀬は学校卒業後、サイディング職人となり、20歳で創業。手間請けで工事を手掛けていましたが、法人成りして材工共で施工する体制をつくりました。

私は創業のすぐ後に入り、1991（平成3）年に小瀬と結婚いたしまして、共に歩んできました。今では息子、娘、娘婿も一緒に会社を盛り立ててくれています。

外装全般に対応されていますが、いかに会社を成長させたのでしょうか？

スタート当時から二十数年ほどはサイディング一本でした。外構専門の工事店で修業していた息子が12年前の2013（平成25）年に戻り、当社でも外構が扱えるようになりました。以降、若手職人を増やしながら、屋根や塗装、板金など建物の外側に関する工事全般に対応できるまでに成長してきました。

長く続けてこられた理由や背景は？

「会社を存続させていかねばならない」という強い思いや責任感だと思います。私たちは家族で経営していますし、働いてくれている従業員とその家族の生活もかかっています。たとえ経営が苦しい局面にぶち当たっても、辞めてどこか他へ行くことなどできません。何があっても進み続けるしかないのです。そんな思いでずっとやってきました。

これまでどのような「苦しい局面」がありましたか？

それはもう何度もありましたが、一番大変だったのは、実はつい最近のコロナ前からコロナ禍辺りにかけての時期でした。受注数の減少、材料費の高騰は本当に大きな打撃でした。材料費が上がっても工事費は上がりませんし、少ない工事を同業者で奪い合うことになります。それでも、持ち前の「進み続ける」精神で乗り越えてきました。

仕事におけるこだわりや御社ならではの強みは何ですか？

品質を追求した責任施工です。認定を受けたサイディングの施工士を必ず配置し、純正品を使用して製品保証とメーカー保証をつけます。価格競争の中、安価にするだけなら簡単なんですよ。しかしそれでは10年保証必須の世界で、お客様に満足、信頼いただける品質の工事を提供できません。

また当社では現場での全工程を写真撮影しています。例えば雨漏りがあった場合、真っ先に「屋根や壁からではないか」と言われるからです。サッシの隙間や換気口から雨水が浸入する場合もあるので、まず当社が適正な施工を行ったことを示して、屋根・壁の施工不良ではないと納得してもらうのです。

職人たちには「自分の家だと思って施工してほしい」といつも言っています。自分がこの家に住むんだ、となると意識も違ってきます。

従業員との関係づくりで心がけているのは？

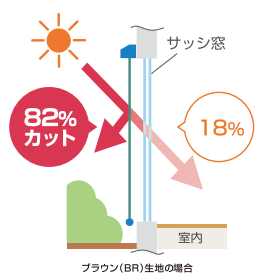
当社は若者が多いことも強みなのですが（18～30歳）、だからこそ私や社長の小瀬ではなく、できるだけ同世代の息子や娘婿に前面に立ってもらってコミュニケーションしています。この夏は淡路島の海でみんなでバーベキューを開催。そういうときも、私たちは準備役に徹して若者に楽しんでもらうようにしています。

今後の組合に期待することは？

当社がこの組合に加入した直接的なきっかけは、特定技能外国人の雇用や在留更新の手続きを行う上で必要だったからです。それまでは正直なところ、メリットがよく分かっておりませんでした。しかし組合の一員となって思うのは、せっかく全国規模の組織なのだから、組合員同士協力し合って仕事をシェアするような仕組みがあればいいのになと。同業者での奪い合いを目の当たりにしてきたので、その点は強く感じます。これが業界全体の改善につながれば、後に続く若者もきっと増えるのではないでしょうか。

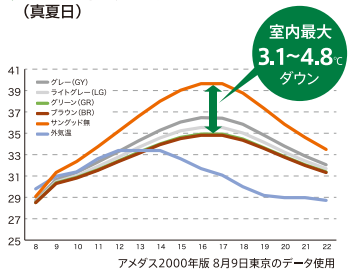
SUNGOOD サングッド
窓辺の強い日差しをカットして日陰をつくる
「外付けロールスクリーン」
省エネ効果　日射熱カット　目かくし効果　SEIKI
サングッドは、窓からの日射熱を 最大約80%カットします。

◆サングッド設置効果



ブラウン(BR)生地の場合

◆サングッド室温シミュレーション（真夏日）



アメダス2000年版 8月9日東京のデータ使用

セイキ販売株式会社 〒570-0014 大阪府守口市藤田町 2-2-3 TEL：06-6780-1700

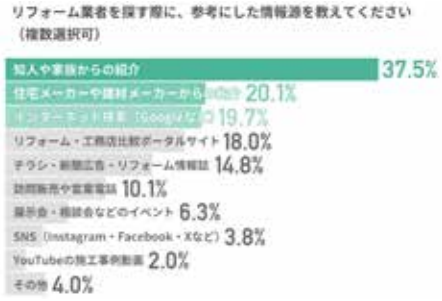
TOPIX

外壁リフォームの業者選び、決め手は「知人や家族からの紹介」が最多占める

9月11日に公開された「外壁リフォーム実施のきっかけと業者選び」に関する実態調査では、外壁リフォームを依頼する際に「知人や家族からの紹介」を業者選びの情報源にしている人が多いことが分かった（(株)オールリンクリフォームズ調べ、n＝1，029）。

知人や家族と回答したのは37．5％。次点が「住宅メーカーや建材メーカーからの紹介」で20．1％、3位が「インターネット検索」の19．7％であった。悪質な業者も存在するのが現実であり、信頼できる経験談や安心感が重視されるのは当然だ。そんな中2割がネットに頼っているのも時代を反映している。

「何社に見積もりを依頼したか」の質問には54．5％が「1社」と回答し、信頼感を重視して早期に決定する傾向が見られた。



「外壁リフォーム実施のきっかけと業者選びに関する実態調査」から抜粋

TOPIX

2024年の外国人労働者、建設業で24％増の15万人を超える

厚生労働省が8月29日に発表した「令和6年外国人雇用実態調査」によると、建設業で働く外国人労働者は約15万人で、前年から約3万人（24．3％）増加した。なお産業別では、製造業が最多で約56万人、次いでサービス業が約32万人、続く卸売・小売業が約19万人となっており、4位の建設業含む4産業で全体の3分の2を占めている。

雇用理由は「労働力不足の解消・緩和のため」が86％、「日本人と同等またはそれ以上の活躍を期待して」が60％。国籍はベトナム人が約半数と最多を占める。注目すべきは「特定技能」の増加率だ。「技能実習」が16％の増加であったのに対し、100．5％と倍増した。

今日つれづれ

神戸　睦史〈ハウゼコ〉

加西市にある兵庫県立北条高校で、昨年から出前授業や工場見学等の取り組みを行っている。2008年に新しく造成された加西東産業団地に工場を建設し、団地発足当初地元以外の企業は弊社のほかにもう一社のみで、地域住民にとっては縁もゆかりもなく特に求人面では苦労をしてきた。そんな折、一昨年、地元の北条高校を訪問する機会があり、そこで校長先生と仲良くなり、その場で来年からSTEAM※探究科という学科を新しく立ち上げるので協力してほしいと言われた。

最近、大人相手のプレゼンはあまり緊張しないのだが、高校生対象のプレゼンはがぜん緊張する。50分の出前授業を2回行ったのだが、1回目は最近始めたYouTubeでつかみがうまくいき、50分でも時間が足りないくらいだったので2回目は少し油断して、つかみでYouTubeを使わなかったらそのあとはグダグダになってしまった。また、文化共生と人権の授業では、外国人従業員との共生のテーマで座談会をさせて頂いたときには、生徒さんの反応は良かった。

このような取り組みを昨年から始めるとうれしいことに、初めて北条高校の生徒さんが就職のための工場見学に来てくれた。この先、このプロジェクトがどのようになるのかは全くわからないが、いつもお世話になっている地元に対して少しでも貢献が出来、従業員が自分の会社に誇りを持つことができるようになるのであれば、微力ながら尽力していきたいと思う。

※STEAMとは、1990年代後半から、アメリカで始まった新しい教育の考え方で、科学（Science）、技術（Technology）、芸術・一般教養（Art・Arts）、工学（Engineering）、数学（Mathematics）の頭文字をとったもの。ジョージット・ヤックマンは、科学やテクノロジーは工学と一般教養（デザイン）を通して解釈され、これらはすべて数学を基礎とする。と提唱している。日本では、文科省と経産省が主体となって近年進めている。

施工品質の最高峰をめざし感謝の気持ちで信頼に応える
サイディング工事の神保工業所

有限会社神保工業所
〒630-2342
奈良県山辺郡山添村広代651
TEL. 0743-85-0036
FAX. 0743-85-0019
E-mail：info@kanbo.jp.net

組合だより

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（8月）

日時　8月27日(水)15:15～17:00
場所　Zoomによるオンライン会議

□役員会
○11月12日(水)に開催予定の忘年会について、会費負担や景品抽選などについて検討。
○全国サイディング事業協同組合連合会執行部会での決定事項報告。

□広報部会
○サイディングニュース10月号の内容検討
・巻頭記事は、法改正で大規模リフォームが建築確認対象になった件に関する解説記事。
・組合員紹介は(株)小瀬外装工業様(2026年4月号は(株)小林技建様を掲載)。
・その他トレンドニュースなど。

□情報交換会　各社近況報告

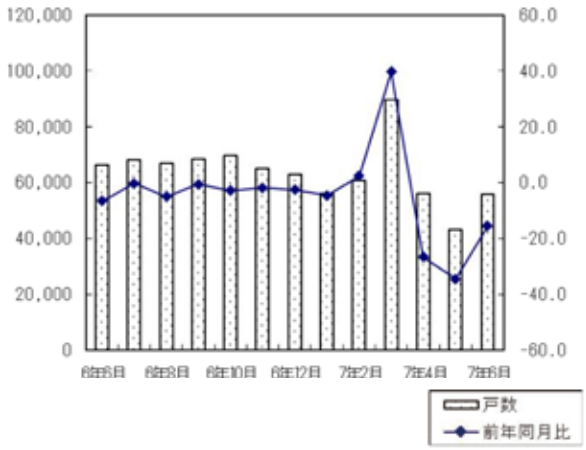
今後の予定

健康診断(大阪)
10月
会場：愛悠会クリニック(門真市)

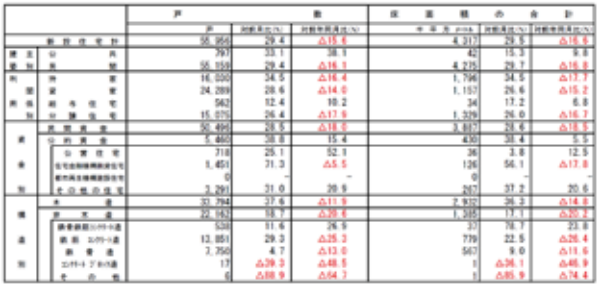
忘年会
11月12日(水)17:00～
場所：がんこ道頓堀店(大阪市中央区)

建築物着工統計（令和７年６月分）

6月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比15.6%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比22.4%の増加となった。



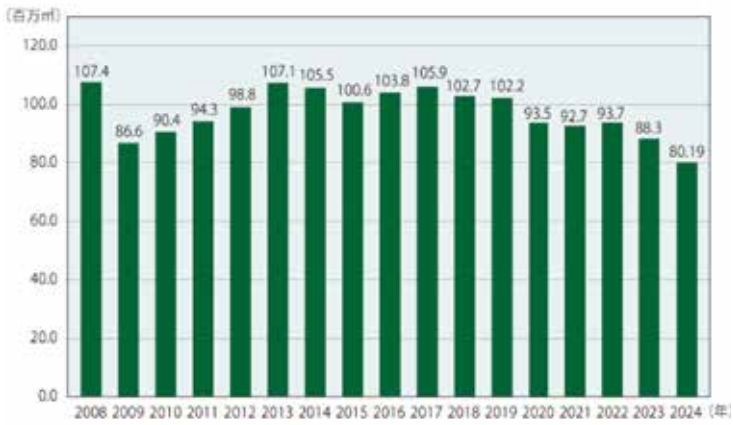
新設住宅総括表



※国土交通省 建築着工統計（2025.7.31 発表）より
http://www.mlit.go.jp/report

窯業系サイディング販売量

年度別販売量



月度別販売量

日本窯業外装材協会